

第48回

(公社) 日本技術士会北海道本部

年次大会資料

平成25年7月26日

(公社) 日本技術士会 北海道本部

第 48 回 年次大会資料

日 時 : 平成 25 年 7 月 26 日 (金)
場 所 : ホテル札幌ガーデンパレス (道庁南側)
札幌市中央区北 1 条西 6 丁目 TEL 011-261-5311

次 第 :

1. (公社)日本技術士会北海道本部年次大会 15:30~16:30 (2F 丹 頂)

1) 開 会

2) 本部長挨拶

3) 報告事項

第 1 号報告 平成 24 年度 事業報告及び決算報告

第 2 号報告 平成 25 年度 事業計画及び予算

第 3 号報告 役員の選任について

第 4 号報告 北海道本部組織の改訂について

第 5 号報告 平成 25 年度(公社)日本技術士会会長表彰者(北海道本部)

阿部 均 氏 (建設部門、総合技術監理部門) 北海道本部推薦

大島 俊之 氏 (建設部門、総合技術監理部門) 北海道本部推薦

渡辺 宏 氏 (森林部門) 森林部会推薦

2. 講 演 会 16:30~17:30 (2F 丹 頂)

演 題 : 「^{えにし} 豎琴の音色と共に、北前船の縁を繋いで・・・」

講 師 : チェンバロ奏者・現代版北前船プロジェクト副代表
明楽 みゆき 氏

3. 懇 親 会 (会費 4,000 円) 17:45~19:30 (2F 孔 雀)

平成24年度 北海道本部事業報告 その1

- 会誌「コンサルタンツ北海道」〔127号(H24.6.30), 128号(H24.10.30), 129号(H25.1.31)〕の発刊
- 技術士第一次試験(H24.10.8 北海道大学高等教育推進機構にて実施)
 - ◇ 受験申込者 1,204名 (22,178), 受験者 973名 (17,188), 合格者 592名 (10,881)
注):()内は全国
- 技術士第二次試験
 - 【1～20部門】(H24.8.5 札幌コンベンションセンター、札幌パークホテル、北海道経済センターにて実施)
 - ◇ 受験申込者 1,748名 (27,982), 受験者 1,352名 (21,194), 合格者 200名 (3,144)
 - 【21:総合技術監理部門】(H24.8.4 ホテルポールスター札幌にて実施)
 - ◇ 受験申込者 312名 (4,861), 受験者 238名 (3,654), 合格者 9名 (265)
注):()内は全国
- 【Web中継】平成24年度(第30回)技術士CPD・技術士業績・研究発表年次大会
(主催:公益社団法人日本技術士会 CPD 実行委員会)
 - ◇ 開催日: 平成24年6月23日(土)
 - ◇ 場所: Docon 新札幌ビル(札幌市厚別区)
 - ◇ 講演: 発表17編(部会9編、東北1・中部1・近畿2・四国2・中国2編)
 - ◇ 出席者: 4名
- 【Web中継】技術者倫理の最前線2012年連続セミナー(全7回)
(主催:公益社団法人日本技術士会倫理委員会)
 - ◇ 開催日: 平成24年10/23, 11/27, 12/18, 平成25年1/22, 2/19, 3/19, 4/16
 - ◇ 場所: Docon 新札幌ビル(札幌市厚別区)
 - ◇ 講演: テキスト「技術者の倫理 学習要領」
技術者倫理研究会 杉本 泰治氏、橋本 義平氏、安藤 正博氏
 - ◇ 出席者: のべ61名(実人数16名)
- 平成23年度 技術士第二次試験合格者歓迎会(主催:北海道本部)
 - ◇ 開催日: 平成24年4月4日(水)
 - ◇ 場所: KKRホテル札幌(札幌市中央区)
 - ◇ 出席者: 52名(新合格者23名,役員29名)
- 平成24年度総会・技術発表会(主催:道南技術士会)
 - ◇ 開催日: 平成24年4月20日(金)
 - ◇ 場所: ホテルリソル函館(函館市)
 - ◇ 講演:
 1. 「大沼湖沼自然浄化活用事業について」
(株)エジソンブレイン 山崎 丈史氏
 2. 「山岳道路での駐車帯および擁壁設計事例」
(株)東鵬開発 藤田 司氏
 3. 「道南の近未来ビジョンと戦略を考えるために何が必要か？」
(株)リージャスト 森下 一氏
 4. 「交通安全対策設計事例」
(株)東鵬開発 藤田 弘毅氏
 - ◇ 出席者: 14名

- 平成 24 年度総会・講演会（主催：北方海域技術研究会）
 - ◇ 開催日：平成 24 年 4 月 20 日（金）
 - ◇ 場所：かでる 2・7（札幌市中央区）
 - ◇ 講演：1. 「海は生みの母」
クッキングキャスター 星澤 幸子 氏
 - 2. 「北海道における沿岸生態系の生物多様性の保全と持続型漁業の
共存：その現状と未来」
北海道大学大学院水産科学研究院教授 桜井 泰憲 氏
 - ◇ 出席者：38 名
- 第 21 回総会・講演会（主催：道央技術士会）
 - ◇ 開催日：平成 24 年 4 月 20 日（金）
 - ◇ 場所：苫小牧ニューステーションホテル（苫小牧市）
 - ◇ 講演：「植栽活動に見るソーシャルキャピタル」
NPO 法人ゆうべあまちづくりネットワーク理事 伊藤 優子 氏
 - ◇ 出席者：24 名
- 第 11 回定期総会・技術研修会（主催：オホーツク技術士会）
 - ◇ 開催日：平成 24 年 4 月 20 日（金）
 - ◇ 場所：ホテルベルクラシック北見（北見市）
 - ◇ 講演：1. 「世界自然遺産・知床でのエゾシカ事業への想い」
斜里建設工業(株)社長 土田 好起 氏
 - 2. 「オホーツク地域における高規格幹線道路網の役割」
北海道開発局網走開発建設部部长 板倉 純 氏
 - ◇ 出席者：66 名
- 平成 24 年度総会・研修会（主催：道北技術士会）
 - ◇ 開催日：平成 24 年 4 月 21 日（土）
 - ◇ 場所：藤田観光ワシントンホテル旭川（旭川市）
 - ◇ 講演：1. 「技術士を巡る最近の動向」
(公社)日本技術士会北海道本部 植村 豊樹 氏
 - 2. 「木材腐朽のメカニズムと土木資材のための脱ケミカルな木材保
存技術の紹介」
旭川工業高等専門学校物質化学工学科教授 富樫 巖 氏
 - 3. 「火災に対する安全性を高めるための木材処理技術の紹介」
北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場
企画調整部長 菊地 伸一 氏
 - 4. 「モンゴル紀行（ウランバートル市）」
(株)アサヒ建設コンサルタント管理本部長 大原 治 氏
 - ◇ 出席者：29 名
- (公社)日本技術士会北海道本部 第 47 回定期総会
 - ◇ 開催日：平成 24 年 4 月 27 日（金）
 - ◇ 場所：ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区）
 - ◇ 出席者：北海道本部（出席 196 名 委任状 526 名 計 722 名）
 - ◇ 講演会
演題：「刑事裁判と弁護士の役割～なぜ弁護士は「悪い人」の弁護をするのか？」
講師：渡辺英一法律事務所 弁護士 作間 豪昭 氏
- 第 65 回総会・講演会（主催：道東技術士会）
 - ◇ 開催日：平成 24 年 5 月 11 日（金）
 - ◇ 場所：釧路プリンスホテル（釧路市）
 - ◇ 講演：1. 「技術者の倫理について」
(公社)日本技術士会北海道本部倫理研究会 今井 淳一 氏

2. 「事例研究～事例で示すモラル問題解法～」
(公社)日本技術士会北海道本部倫理研究会 佐々木 裕之 氏
3. 「道東地域におけるこれからの暮らしとエネルギー」
釧路工業高等専門学校機械工学科教授 川村 淳浩 氏
4. 「技術士を巡る最近の動向」
(公社)日本技術士会北海道本部副本部長 大島 俊之 氏

◇ 出席者 : 33名

● 平成24年度総会(主催:防災委員会)

- ◇ 開催日 : 平成24年5月15日(火)
- ◇ 場所 : TKP ガーデンシティ札幌きょうさいサロン(札幌市中央区)
- ◇ 講演 : 「北海道における巨大地震と大津波」
北海道大学大学院理学研究院
地震火山研究観測センター教授・センター長 谷岡 勇市郎 氏

◇ 出席者 : 41名

● 第3回技術者倫理フォーラム(主催:倫理研究会)

- ◇ 開催日 : 平成24年5月17日(木)
- ◇ 場所 : ホテルポールスター札幌(札幌市中央区)
- ◇ 講演 : 「3.11以降の原子力・放射線部会の活動を倫理事例として考える」
(公社)日本技術士会原子力・放射線部会長 桑江 良明 氏
- ◇ 事例研究報告 : 1. 「事例で示すモラル問題解法」
(公社)日本技術士会北海道本部 佐々木 裕之 氏
〃 川浦 広樹 氏
- 2. 「考えようモラル問題」
(公社)日本技術士会北海道本部 日下部 祐基 氏
〃 小野 孝 氏

◇ 出席者 : 74名

● 平成24年度総会・第1回研修会(主催:青年技術士交流委員会)

- ◇ 開催日 : 平成24年5月22日(火)
- ◇ 場所 : KKRホテル札幌(札幌市中央区)
- ◇ 講演 : 「札幌発のサイクルシェアリングサービス・ポロクル」
(株)ドーコンモビリティデザイン取締役事業部長 澤 充隆 氏

◇ 出席者 : 43名

● 平成24年度総会・第3回勉強会(主催:北海道スタンダード研究会)

- ◇ 開催日 : 平成24年5月25日(金)
- ◇ 場所 : TKP ガーデンシティ札幌きょうさいサロン(札幌市中央区)
- ◇ 講演 : 「北海道スタンダード」創出の背景として
伊藤組土建(株)副社長 熊谷 勝弘 氏

◇ 出席者 : 38名

● 第126回技術交流研究会(主催:技術交流研究会)

- ◇ 開催日 : 平成24年6月8日(金)
- ◇ 場所 : Docon 新札幌ビル(札幌市厚別区)
- ◇ 講演 : 「不安とうつ: 健常と病気の境目」
北海道大学病院精神科神経科講師 井上 猛 氏

◇ 出席者 : 19名

● 島牧村農業の見学及び情報交換会(主催:食産業研究会)

- ◇ 開催日 : 平成24年6月12日(火)～13日(水)
- ◇ 場所 : 島牧村道の駅、地元農家の施設園芸ハウス・果樹園・椎茸栽培地、島牧村農協、島牧村役場など
- ◇ 出席者 : 15名

- 臨時総会・講演会（主催：リージョナルステート研究会）
 - ◇ 開催日：平成24年6月22日（金）
 - ◇ 場所：札幌エルプラザ（札幌市中央区）
 - ◇ 講演：「LCCと道内航空網の展望について」
武山事務所(株)代表取締役 武山 泰典 氏
 - ◇ 出席者：20名
- 現場見学会（主催：オホーツク技術士会）
 - ◇ 開催日：平成24年6月27日（水）
 - ◇ 場所：一般国道39号寺の沢川橋上部工事（北見市）、国営かんがい排水事業（大空町）、網走湖の水質状況視察（網走市）
 - ◇ 出席者：12名
- テクニカルツアー（主催：青年技術士交流委員会）
 - ◇ 開催日：平成24年7月3日（火）
 - ◇ 場所：苫東火力発電所と巨大クレーン見学：北海道電力苫東厚真発電所
 - ◇ 出席者：16名
- 平成24年度第2回CPD研修・見学会（主催：道南技術士会）
 - ◇ 開催日：平成24年7月3日（火）
 - ◇ 場所：函館漁港改修工事現場、元町配水池
 - ◇ 出席者：14名
- 第1回見学会（主催：道央技術士会）
 - ◇ 開催日：平成24年7月6日（金）
 - ◇ 場所：苫小牧東部工業基地（NP0 法人苫東環境コモンズのフィールド）
 - ◇ 出席者：7名
- 第4回勉強会（主催：北海道スタンダード研究会）
 - ◇ 開催日：平成24年7月11日（水）
 - ◇ 場所：TKP ガーデンシティ札幌きょうさいサロン（札幌市中央区）
 - ◇ 講演：「政治混迷の中の地方」
北海道大学大学院法学研究科教授 山口 二郎 氏
 - ◇ 出席者：44名
- 平成24年度講演会（主催：北方海域技術研究会）
 - ◇ 開催日：平成24年7月19日（木）
 - ◇ 場所：（社）北海道中小企業会館（札幌市中央区）
 - ◇ 講演：1. 「これからの社会と技術の活用」
函館工業高等専門学校名誉教授 菰澤 憲吉 氏
2. 「浮上式防波堤等による津波の防災・減災対策について－フラップ式ゲートによる海上・陸上の浸水対策施設－」
日立造船(株)フラップゲートプロジェクトチームチームリーダー 仲保 京一 氏
 - ◇ 出席者：39名
- 第1回食の討論会（主催：食産業研究会）
 - ◇ 開催日：平成24年7月24日（火）
 - ◇ 場所：Docon 新札幌ビル（札幌市厚別区）
 - ◇ 講演：「付加価値製品の開発について」
酪農学園大学酪農学部食品流通学科教授 本多 芳彦 氏
 - ◇ 出席者：30名

- 技術研修会（日帰りコース）（主催：事業委員会）
 - ◇ 開催日：平成24年7月27日（金）
 - ◇ 場所：豊平川雨水貯留管工事現場、札幌市下水道科学館
 - ◇ 出席者：45名
- 平成24年度第1回施設見学会（主催：リージョナルステート研究会）
 - ◇ 開催日：平成24年8月24日（金）
 - ◇ 場所：せたな町洋上風力発電施設「風海鳥」
 - ◇ 出席者：19名
- 平成24年度現地研修会（主催：道北技術士会）
 - ◇ 開催日：平成24年8月24日（金）
 - ◇ 場所：（有）神内ファーム21（浦臼町）、（独）林業試験場（美唄市）
 - ◇ 出席者：15名
- 第127回技術交流研究会（主催：技術交流研究会）
 - ◇ 開催日：平成24年9月6日（木）
 - ◇ 場所：Docon 新札幌ビル（札幌市厚別区）
 - ◇ 講演：
 - 1. 「道路交通騒音の評価と予測手法の変遷」
エヌエス環境（株） 西尾 耕一 氏
 - 2. 「航空機とジェット燃料」
千歳空港給油施設（株） 大塚 和秀 氏
 - ◇ 出席者：13名
- 平成24年度第3回研修会（主催：青年技術士交流委員会）
 - ◇ 開催日：平成24年9月10日（月）
 - ◇ 場所：札幌大通コワーキングスペース・ドリノキ（札幌市中央区）
 - ◇ 講演：
 - 1. 「大通地区におけるにぎわい創出のための取り組み」
札幌大通まちづくり（株）取締役統括部長 服部 彰治 氏
 - 2. 「仮題：札幌オオドオリ大学の目指すもの」
札幌オオドオリ大学学長 猪熊 梨恵 氏
 - ◇ 出席者：29名
- 技術研修会（宿泊コース）（主催：事業委員会、共催：オホーツク技術士会）
 - ◇ 開催日：平成24年9月14日（金）、15日（土）
 - ◇ 場所：網走港帽子岩ケーソンドック、ところ遺跡の森
 - ◇ 出席者：18名
- 平成24年度第2回施設見学会（主催：リージョナルステート研究会）
 - ◇ 開催日：平成24年9月21日（金）
 - ◇ 場所：白老町「バイオマス燃料化施設（eco リサイクルセンターしらおい）」、
日本製紙（株）白老工場「新エネルギーボイラー施設」
 - ◇ 出席者：13名
- 食の現地見学会及び討論会（主催：食産業研究会）
 - ◇ 開催日：平成24年10月19日（金）～20日（土）
 - ◇ 場所：寿都漁港、水産加工業協働組合大型冷蔵倉庫、コミュニティレストラン
風のごはんや、施肥ブロック製造施設、寿都町道の駅など
 - ◇ 出席者：18名
- 平成24年度第3回CPD研修・見学会（主催：道南技術士会）
 - ◇ 開催日：平成24年10月24日（水）
 - ◇ 場所：北海道立工業技術センター
 - ◇ 講演：「ホタテ貝殻利活用の取り組み、X線を利用した材料の分析と活用事例」
研究開発部ものづくり技術支援グループ主任研究員 下野 功 氏
 - ◇ 出席者：9名

- 函館市周辺亀田半島を歴史的見地で探るツアー（主催：道南技術士会）
- ◇ 開催日：平成24年11月3日（土）～4日（日）
 - ◇ 場所：函館市周辺の産業遺産：旧戸井線遺構、大船遺跡、大沼水力発電所跡など
 - ◇ 講師：函館工業高等専門学校名誉教授（環境都市、歴史遺産） 葦澤 憲吉 氏
〃 教授（歴史、人間と文明、科学技術史） 中村 和之 氏
 - ◇ 出席者：11名
- 平成24年度講演会（主催：業務委員会）
- ◇ 開催日：平成24年11月9日（金）
 - ◇ 場所：ホテルポールスター札幌（札幌市中央区）
 - ◇ 講演：「日本および北海道経済の現状と課題」
日本銀行 札幌支店長 高田 恭介 氏
 - ◇ 出席者：98名
- 平成24年度第2回施設見学会・講演会（主催：道央技術士会）
- ◇ 開催日：平成24年11月9日（金）
 - ◇ 場所：オエノンホールディングス（株）苫小牧工場
 - ◇ 講演：「南極生活」
苫小牧工業高等専門学校物質工学科准教授 岩波 俊介 氏
 - ◇ 出席者：12名
- 第4回研修会テクニカルスクール（主催：青年技術士交流委員会）
- ◇ 開催日：平成24年11月16日（金）
 - ◇ 場所：札幌大通コワーキングスペース・ドリノキ（札幌市中央区）
 - ◇ 講演：「ワールド・カフェ」～ファシリテーションプロセスを学ぶ～
東海大学国際文化学科デザイン文化学科 客員教授 渡辺 保史 氏
 - ◇ 出席者：19名
- 技術講演会（主催：オホーツク技術士会）
- ◇ 開催日：平成24年11月21日（水）
 - ◇ 場所：ホテル黒部（北見市）
 - ◇ 講演：1. 「北見道路建設工事の進捗状況と技術的特徴」
北海道開発局網走開発建設部北見道路事務所所長 遠藤 平 氏
2. 「広域幹線道路整備における地域の課題と展望」
北見工業大学教授 高橋 清 氏
 - ◇ 出席者：50名
- 第24回防災セミナー（主催：防災委員会）
- ◇ 開催日：平成24年11月29日（木）
 - ◇ 場所：ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区）
 - ◇ 講演：1. 「東日本大震災の緊急支援物資のロジスティックス」
東北大学大学院情報科学研究科教授 桑原 雅夫 氏
2. 「こころのケアという観点から見る大規模災害への備え」
室蘭工業大学大学院工学研究科ひと文化系領域准教授 前田 潤 氏
3. 「防災まちづくりに向けて」
北海道建設部まちづくり局都市計画課長 上谷 誠司 氏
 - ◇ 出席者：108名
- 第128回技術交流研究会（主催：技術交流研究会）
- ◇ 開催日：平成24年12月6日（金）
 - ◇ 場所：Docon 新札幌ビル（札幌市厚別区）
 - ◇ 講演：「2012年秋・被災現場から＜視察報告＞」
（一社）技術士リングネット 松井 義孝 氏
 - ◇ 出席者：16名

- 平成 24 年度講演会（主催：業務委員会）
- ◇ 開 催 日：平成 24 年 11 月 9 日（金）
 - ◇ 場 所：ホテルポールスター札幌（札幌市中央区）
 - ◇ 講 演：「日本および北海道経済の現状と課題」
日本銀行 札幌支店長 高田 恭介 氏
 - ◇ 出 席 者：98 名

- 平成 24 年度第 2 回施設見学会・講演会（主催：道央技術士会）
 - ◇ 開 催 日：平成 24 年 11 月 9 日（金）
 - ◇ 場 所：オエノンホールディングス(株)苫小牧工場
 - ◇ 講 演：「南極生活」
苫小牧工業高等専門学校物質工学科准教授 岩波 俊介 氏
 - ◇ 出 席 者：12 名

- 第4回研修会テクニカルスクール（主催：青年技術士交流委員会）
- ◇ 開催日：平成24年11月16日（金）
 - ◇ 場所：札幌大通コワーキングスペース・ドリノキ（札幌市中央区）
 - ◇ 講演：「ワールド・カフェ」～ファシリテーションプロセスを学ぶ～
東海大学国際文化学科デザイン文化学科 客員教授 渡辺 保史 氏
 - ◇ 出席者：19名

- 技術講演会（主催：オホーツク技術士会）
 - ◇ 開催日：平成24年11月21日（水）
 - ◇ 場所：ホテル黒部（北見市）
 - ◇ 講演：1. 「北見道路建設工事の進捗状況と技術的特徴」
北海道開発局網走開発建設部北見道路事務所所長 遠藤 平 氏
 - 2. 「広域幹線道路整備における地域の課題と展望」
北見工業大学教授 高橋 清 氏
 - ◇ 出席者：50名

- 第24回防災セミナー（主催：防災委員会）
- ◇ 開催日：平成24年11月29日（木）
 - ◇ 場所：ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区）
 - ◇ 講演：
 1. 「東日本大震災の緊急支援物資のロジスティックス」
東北大学大学院情報科学研究科教授 桑原 雅夫 氏
 2. 「こころのケアという観点から見る大規模災害への備え」
室蘭工業大学大学院工学研究科ひと文化系領域准教授 前田 潤 氏
 3. 「防災まちづくりに向けて」
北海道建設部まちづくり局都市計画課長 上谷 誠司 氏
 - ◇ 出席者：108名

- 第 128 回技術交流研究会（主催：技術交流研究会）
 - ◇ 開 催 日：平成 24 年 12 月 6 日（金）
 - ◇ 場 所：Docon 新札幌ビル（札幌市厚別区）
 - ◇ 講 演：「2012 年秋・被災現場から＜視察報告＞」
(一社)技術士リングネット 松井 義孝 氏
 - ◇ 出 席 者：16 名

- 第 66 回総会・講演会（主催：道東技術士会）
 - ◇ 開催日：平成 24 年 12 月 7 日（金）
 - ◇ 場所：帯広ワシントンホテル（帯広市）
 - ◇ 講演：「十勝が担うバックアップ機能（食料・水・エネルギー）について」
北海道開発局帯広開発建設部部長 大内 幸則 氏
 - ◇ 出席者：28 名

- 第 15 回北東 3 地域本部技術士交流研修会（主催：北東 3 地域本部技術士交流研修会実行委員会）
 - ◇ 開催日：平成 24 年 12 月 7 日（金）
 - ◇ 場所：ホテルポールスター札幌（札幌市中央区）
 - ◇ 研修発表：テーマ「地域における技術の役割」
 1. 「老朽化した鋼矢板水路の長寿命化対策―ストパネ工法―」
(北陸本部/建設部門) (株)水倉組 小林 秀一 氏
 2. 沿岸漁業地域における魚礁の役割と技術～
(北海道本部/水産部門) (株)エコニクス 山内 繁樹 氏
 3. ふるさとの再生と帰還に向けて
(東北本部/建設・環境・総監部門) 福島県相双建設事務所 草野 秀夫 氏
 4. 「災害廃棄物処理業務の現状～技術を結集し迅速な廃棄物処理をめざして～」
(東北本部/衛生工学・上下水道部門) 鹿島建設(株) 八村 幸一 氏
 5. 北陸地方の災害と防災・減災
(北陸本部/建設・総監部門) (株)国土開発センター 一願 稔 氏
 6. 再生可能エネルギーの有効活用と今後の展望について
(北海道本部/建設・総監部門) 伊藤組土建(株) 阪 豊彦 氏
 - ◇ 出席者：68 名

- 平成 24 年度 技術研究発表会（主催：北方海域技術研究会）
 - ◇ 開催日：平成 25 年 1 月 11 日（金）
 - ◇ 場所：独立行政法人土木研究所 寒地土木研究所(札幌市豊平区)
 - ◇ 講演：
 1. 「鵲川河口海域における地形変化について」
(独)土木研究所寒地土木研究所 大塚 淳一 氏
 2. 「河川出水に伴う鵲川河川周辺の環境変化について」
(独)土木研究所寒地土木研究所 須藤 賢哉 氏
 3. 「台湾における深層水国際シンポジウム参加報告」
アルファ水工コンサルタンツ(株)特別執行役員 若林 隆司 氏
 4. 「港湾における震災後の津波対策等について」
北海道開発局港湾空港部港湾建設課
港湾保安保全推進官 岸 哲也 氏
 - ◇ 出席者：47 名

- 平成 24 年度総会・講演会（主催：リージョナルステート研究会）
 - ◇ 開催日：平成 25 年 1 月 18 日（金）
 - ◇ 場所：札幌エルプラザ（札幌市中央区）
 - ◇ 講演：「レールが運ぶ北海道の未来～つなげよう！しずか号から新幹線へ～」
(株)ドウデン代表取締役社長 小笠原 憲生 氏
 - ◇ 出席者：17 名

- 第5回勉強会（主催：北海道スタンダード研究会）
 - ◇ 開催日：平成25年1月25日（金）
 - ◇ 場所：TKP ガーデンシティ札幌きょうさいサロン（札幌市中央区）
 - ◇ 講演：1. 「交流から地域を再生する地域プラットフォームというトライアル」
北海道大学観光学高等研究センター教授 敷田 麻実 氏
 - 2. 「テレワークが北海道のビジネスを変える! 生き方を変える!」
(株)テレワークマネジメント代表取締役 田澤 由利 氏
 - ◇ 出席者：30名

- 平成24年度 技術士第一次試験合格者歓迎会（主催：北海道本部）
 - ◇ 開催日：平成25年1月30日（水）
 - ◇ 場所：ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区）
 - ◇ 出席者：63名（新合格者 36名，役員他 27名）

- 第11回技術フォーラム（主催：事業委員会）
 - ◇ 開催日：平成25年2月27日（水）
 - ◇ 場所：ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区）
 - ◇ テーマ：「北海道新幹線延伸と地域の活性化」ー技術士への期待と役割ー
 - ◇ 第1部：技術士 CPD 説明会
(公社) 日本技術士会 研修委員会継続研鑽小委員会
 - ◇ 第2部：特別講演
 - 1. 「北海道新幹線の事業概要と函館までの工事進捗」
(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構次長 渡邊 修 氏
 - 2. 「北海道新幹線の更なる利用を目指して」
北海商科大学教授 佐藤 馨一 氏
 - ◇ 出席者：133名

- 第2回食の討論会（主催：食産業研究会）
 - ◇ 開催日：平成25年3月27日（水）
 - ◇ 場所：Docon 新札幌ビル（札幌市厚別区）
 - ◇ 講演：「地域に密着した食育活動と食産業への貢献」
北海道フードマイスター(元NHKレポーター) 木村 光江 氏
 - ◇ 出席者：25名

平成 24 年度 北海道本部事業報告 その 2 (会議等)

会 議 名	開催日	出席者数	主 た る 議 題
第 54 回 定時総会 (統括本部)	24. 6. 27	189	H23 事業報告 収支決算 監査報告 ほか
統括本部理事会 (第 1 回)	24. 5. 10	36	H23 事業・収支報告 ほか
〃 (第 2 回)	24. 7. 12	36	委員会運営に関する規則の変更 ほか
〃 (第 3 回)	24. 9. 19	36	参与の委嘱期間の更新、選管委員の委嘱 ほか
〃 (第 4 回)	24. 11. 15	37	選挙規則の変更、地域本部幹事定数 ほか
〃 (第 5 回)	25. 1. 9	35	地域組織の設置運営・幹事選出規則変更 ほか
〃 (第 6 回)	25. 3. 14	36	H25 事業収支計画、国際委員会委員委嘱 ほか
地域本部長会議 (第 1 回)	24. 6. 7	15	地域組織検討、CPD 講演 Web 掲載用収録 ほか
〃 (第 2 回)	24. 10. 2	16	第 2 次試験受験状況、地域組織の検討 ほか
〃 (第 3 回)	25. 1. 16	14	技術士試験結果、地域組織の運営 ほか
〃 (第 4 回)	25. 3. 22	16	H25 事業計画・収支予算 ほか
【北海道本部】			
第 47 回 定期総会	24. 4. 27	196	H23 決算報告、H24 事業計画・予算 ほか
役員会 (第 1 回)	24. 4. 4	28	H24 定期総会議案についてほか
〃 (第 2 回)	24. 12. 12	26	委員会・研究会の H24 中間事業報告 ほか
〃 (第 3 回)	25. 1. 30	27	北海道本部運営手引き、H24 決算見通し ほか
委員長会議 (第 1 回)	24. 11. 30	18	各委員会等 H24 中間報告、H25 事業計画・予算
技術士試験委員会 (第 1 回)	24. 6. 14	12	H23 事業報告、H24 事業計画 ほか
〃 (第 2 回)	24. 7. 25	22	技術士第二次試験監督の実施体制 ほか
〃 (第 3 回)	24. 8. 4～5	72	技術士第二次試験監督
〃 (第 4 回)	24. 9. 28	22	技術士第一次試験監督の実施体制 ほか
〃 (第 5 回)	24. 10. 8	63	技術士第一次試験監督
〃 (第 6 回)	25. 2. 1	11	H24 事業報告・決算報告、H25 事業計画 ほか
第 40 回全国大会準備委員会 (第 4 回)	24. 5. 23	13	分科会構成、実行委員会体制 ほか
第 40 回全国大会実行委員会 (第 1 回)	24. 7. 17	16	分科会テーマ、委員会メンバー ほか
〃 (第 2 回：電子会議)	24. 9. 10	16	活動予算 (案)、大阪大会での P R ほか
〃 (第 3 回)	25. 3. 12	14	全国大会案内冊子、分科会進捗 ほか
【常設委員会】			
総務委員会 (第 1 回)	24. 8. 21	8	全国大会予算、北海道本部運営手引き ほか
〃 (第 2 回)	24. 10. 22	9	北海道本部幹事定数、選挙等の周知 ほか
〃 (第 3 回：電子会議)	25. 3. 7	11	H25 会長表彰の推薦
事業委員会 (第 1 回)	24. 5. 15	11	H24 事業計画、予算案、役割分担について
〃 (臨 時)	24. 6. 7	16	北東 3 地域本部技術士交流研修会について
〃 (第 2 回)	24. 7. 10	11	見学会開催要領、北東 3 地域研修会について
〃 (第 3 回)	24. 9. 11	11	宿泊見学会、技術フォーラムについて
〃 (臨 時)	24. 10. 10	13	技術フォーラムテーマ打合せ

会 議 名	開催日	出席者数	主 た る 議 題
〃 (第4回)	24. 11. 20	12	技術フォーラムテーマ、役割分担
〃 (第5回)	25. 1. 16	9	技術フォーラム役割分担、進捗確認
〃 (臨 時)	25. 2. 21	11	技術フォーラム最終確認
〃 (第6回)	25. 3. 13	11	H24 事業報告・決算報告、H25 事業計画 ほか
広報委員会 (第1回)	24. 4. 26	10	会誌 127 号編集会議 ほか
〃 (第2回)	24. 5. 24	11	会誌 127 号原稿とりまとめ ほか
〃 (第3回)	24. 8. 9	9	会誌 128 号編集会議 ほか
〃 (第4回)	24. 10. 3	9	会誌 128 号原稿とりまとめ ほか
〃 (第5回)	24. 11. 29	9	会誌 129 号編集会議 ほか
〃 (第6回)	25. 1. 10	10	会誌 129 号原稿とりまとめ ほか
業務委員会 (第1回)	24. 4. 13	8	H24 体制、事業計画 ほか
〃 (第2回)	24. 5. 15	7	意見交換会、講演会について
〃 (第3回)	24. 7. 30	9	全国大会、意見交換会について
〃 (第4回)	24. 10. 4	8	全国大会、講演会の役割分担について
〃 (第5回)	25. 3. 7	8	全国大会、異業種交流会準備状況
【実行委員会】			
防災委員会 (第1回)	24. 4. 17	8	総合幹事会 H24 事業計画、総会内容 ほか
〃 (第2回)	24. 5. 15	41	H24 総会・基調講演
〃 (臨 時)	24. 6. 25	13	東日本大震災プロジェクト 設立趣旨、進捗状況
〃 (第3回)	24. 8. 31	10	総合幹事会 防災セミナー、全国大会 ほか
〃 (臨 時)	24. 9. 14	10	東日本大震災プロジェクト 提言書進捗確認
〃 (第4回)	24. 9. 21	3	第8回全国防災連絡会議参加
〃 (第5回)	24. 12. 11	8	総合幹事会 提言書方針、全国大会 ほか
〃 (第6回)	25. 3. 7	10	総合幹事会 H24 活動報告、H25 計画予算 ほか
青年技術士交流委員会 (第1回)	24. 4. 16	14	幹事会 総会、第1回研修会について
〃 (第2回)	24. 5. 22	28	H24 総会・第1回研修会
〃 (第3回)	24. 6. 14	13	幹事会 テクニカルツアー、全国大会 ほか
〃 (第4回)	24. 7. 18	12	幹事会 講演会、全国大会 ほか
〃 (第5回)	24. 9. 3	10	幹事会 講演会、「学校へ行こう」 ほか
〃 (第6回)	24. 9. 21～23	8	第39回技術士全国大会青年委員会参加
〃 (第7回)	24. 10. 17～19	1	日韓技術士会議(愛知・名古屋)参加
〃 (第8回)	24. 10. 30	8	幹事会 「学校へ行こう」、ワールドカフェ ほか
〃 (第9回)	24. 11. 2	7	技術士の社会認知向上活動 (北海学園大学)
〃 (第10回)	24. 12. 17	10	幹事会 H25 全国大会 ほか
【研究会】			
北方海域技術研究会 (第1回)	24. 4. 16	9	幹事会 H24 総会・講演会 ほか
〃 (第2回)	24. 4. 20	38	H24 総会・講演会
〃 (第3回)	24. 5. 29	8	幹事会 講演会、台湾訪問 ほか
〃 (第4回)	24. 7. 9	7	幹事会 講演会、深層水シンポジウム ほか

会 議 名	開催日	出席者数	主 た る 議 題
〃 (第 5 回)	24. 8. 27	5	幹事会 定例会、深層水シンポジウム ほか
〃 (第 6 回)	24. 9. 13～15	4	2012 深層海水産業交流国際シンポジウム参加発表
〃 (第 7 回)	24. 10. 11	9	プレ・ディスカッション (定例会相応) 講演
〃 (第 8 回)	24. 11. 6	5	幹事会 技術研究発表会 ほか
〃 (第 9 回)	25. 2. 4	7	幹事会 総会・特別講演会 ほか
〃 (第 10 回)	25. 3. 18	6	幹事会 H25 総会・特別講演会、体制 ほか
リージョナルスタート研究会 (第 1 回)	24. 4. 2	8	定例会 H24 活動計画 ほか
〃 (第 2 回)	24. 4. 6	7	幹事会 H24 活動計画、臨時総会 ほか
〃 (第 3 回)	24. 4. 12	15	定例会 (釧路市) 講演、意見交換会 ほか
〃 (第 4 回)	24. 5. 21	21	定例会 講演、意見交換会 ほか
〃 (第 5 回)	24. 6. 22	20	H24 臨時総会・講演会
〃 (第 6 回)	24. 7. 9	10	定例会 講演、意見交換会 ほか
〃 (第 7 回)	24. 7. 27	6	定例会 講演、意見交換会 ほか
〃 (第 8 回)	24. 10. 9	7	定例会 成果まとめ、北東 3 地域対応 ほか
〃 (第 9 回)	24. 10. 12	6	幹事会 H24 中間報告、総会内容 ほか
〃 (第 10 回)	24. 10. 22	9	定例会 成果まとめ、北東 3 地域対応 ほか
〃 (第 11 回)	24. 11. 26	5	幹事会 H24 総会内容 ほか
〃 (第 12 回)	25. 1. 18	17	H24 総会・講演会
技術交流研究会 (第 1 回)	24. 6. 8	19	(第 126 回) 会員相互の情報交換、講演会
〃 (第 2 回)	24. 9. 6	13	(第 127 回) 会員相互の情報交換、講演会
〃 (第 3 回)	24. 12. 6	16	(第 128 回) 会員相互の情報交換、講演会
倫理研究会 (第 1 回)	24. 4. 23	20	定例会 技術者倫理フォーラム、H24 活動 ほか
〃 (第 2 回)	24. 6. 25	17	定例会 技術者倫理フォーラム報告 ほか
〃 (第 3 回)	24. 8. 22	16	定例会 技術倫理指導者資格、事例研究 ほか
〃 (第 4 回)	24. 10. 9	15	定例会 倫理研究会活動報告書、事例研究 ほか
〃 (第 5 回)	24. 12. 10	18	定例会 技術士試験・選挙報告、事例研究 ほか
〃 (第 6 回)	25. 2. 12	22	定例会 活動報告書、倫理フォーラム ほか
北海道スタート研究会 (第 1 回)	24. 4. 12	5	幹事会 勉強会、全国大会 ほか
〃 (第 2 回)	24. 5. 25	38	H24 総会・勉強会
〃 (第 3 回)	24. 8. 6	6	幹事会 ワークショップ、勉強会、全国大会 ほか
〃 (第 4 回)	24. 10. 9	7	幹事会 ワークショップ、全国大会 ほか
〃 (第 5 回)	25. 1. 15	6	幹事会 勉強会、全国大会 ほか
食産業研究会 (第 1 回)	24. 4. 19	7	幹事会 全体活動計画 ほか
〃 (第 2 回)	24. 6. 12～13	15	定例会 (島牧村) 植樹会、見学会、情報交換会
〃 (第 3 回)	24. 7. 13	7	幹事会 全国大会、食の討論会 ほか
〃 (第 4 回)	24. 10. 17	5	幹事会 全国大会、食の討論会 ほか
〃 (第 5 回)	24. 10. 19～20	18	定例会 (寿都町) 現地調査、討論会
〃 (第 6 回)	25. 1. 29	5	幹事会 全国大会、食の討論会 ほか
〃 (第 7 回)	25. 3. 11	5	幹事会 全国大会、食の討論会 ほか

会 議 名	開催日	出席者数	主 た る 議 題
エゾシカ研究会 (第1回)	24. 4. 4	2	対外活動 札幌東商業高校(教諭他10名)出前授業
〃 (第2回)	24. 4. 18	20	定例会 研究会設立、H24 計画 ほか
〃 (第3回)	24. 4. 25～27	4	現地調査 知床エゾシカファーム、知床自然センター
〃 (第4回)	24. 6. 29	17	定例会 エゾシカを取り巻く現況 ほか
〃 (第5回)	24. 9. 12	16	定例会 現地調査報告、意見交換 ほか
〃 (第6回)	24. 11. 9	15	定例会 話題提供、H25 活動計画 ほか
〃 (第7回)	24. 12. 14～15	3	現地調査 知床エゾシカファーム
〃 (第8回)	25. 2. 6	11	定例会 外部講師による勉強会 ほか
エゾシカ・サイエンス研究会 (第1回)	24. 4. 20	12	定例会 H24 活動計画 ほか
〃 (第2回)	24. 6. 29	8	定例会 レポート報告、今後の予定 ほか
〃 (第3回)	24. 7. 27	8	発足記念交流会 経緯と実績 ほか
〃 (第4回)	24. 8. 4	4	サポート事前協議 サポートメニュー ほか
〃 (第5回)	24. 8. 24	6	定例会 レポート報告、今後の予定 ほか
〃 (第6回)	24. 10. 19	10	定例会 レポート報告、コンサルタンツ北海道原稿 ほか
〃 (第7回)	24. 12. 13	13	定例会 レポート報告、今後の予定 ほか
〃 (第8回)	25. 2. 1	7	定例会 レポート報告、今後の活動 ほか
〃 (その他)	—	—	科学実験、教育サポートを 9 回開催(寿都町、定山溪中学、北広島児童センター、札幌工業高校、札幌市白石区、寒地土研)
【地方技術士会】			
道央技術士会 (第1回)	24. 4. 20	24	第 21 回総会(苫小牧)
〃 (第2回)	24. 7. 9	7	第 1 回見学会(苫小牧)
〃 (第3回)	24. 11. 9	12	第 2 回施設見学会及び講演会(苫小牧)
道南技術士会 (第1回)	24. 4. 20	14	総会・技術発表会(第 1 回 CPD 研修会)
〃 (第2回)	24. 5. 18	21	退官記念講演会
〃 (第3回)	24. 7. 3	14	第 2 回 CPD 研修会
〃 (第4回)	24. 10. 24	9	第 3 回 CPD 研修会
〃 (第5回)	24. 11. 3～4	11	函館市周辺亀田半島を歴史的見地で探るツアー
〃 (第6回)	25. 2. 1	13	新年技術交流会
道東技術士会 (第1回)	24. 5. 11	33	第 65 回総会(釧路)
〃 (第2回)	24. 12. 7	28	第 66 回総会(帯広)
〃 (その他)	24. 10. 17	—	第 15 回技術者交流フォーラム in 帯広(共催)
道北技術士会 (第1回)	24. 4. 21	29	平成 24 年度総会(旭川)
〃 (第2回)	24. 8. 24	15	平成 24 年度現地研修会(浦臼町、美瑛市)
オホーツク技術士会 (第1回)	24. 4. 20	66	定期総会・技術研修会、合格祝賀会(北見)
〃 (第2回)	24. 6. 27	12	現場見学会(北見市、大空町、網走市)
〃 (第3回)	24. 7. 23	10	役員会 H24 年度後期事業計画 ほか
〃 (第4回)	24. 11. 21	50	技術講演会・情報交換会(北見市)
〃 (第5回)	25. 2. 25	9	役員会 H25 年度前期事業計画 ほか
〃 (その他)	25. 1. 29	—	第 16 回技術者交流フォーラム in 北見(共催)

北海道本部の平成 24 年度決算について

(公社) 日本技術士会の会計は、一般会計と特別会計の 2 本立てとなっている。一般会計は、会員からの会費収入を基にした会員サービスに関するものである。特別会計は、技術士法に基づく文部科学大臣の指定試験機関および指定登録機関として、技術士試験を実施すると共に、技術士および技術士補の登録事務を行っている指定事業に関するものである。

平成 23 年 4 月に公益社団法人に移行したことから、文部科学省の指導の下、平成 23 年度、24 年度にかけて会計科目・書式の整理・統一が図られ、とりわけ特別会計に関する見直し指導が行われた。特別会計は、技術士受験者数の減少等から近年は減収による赤字が続いていることから、文部科学省から指定事業に関わる費用の改善が求められ、平成 24 年度からは特別会計は実費清算方式に変わった。加えて、(公社) 日本技術士会全体の一般会計におけるコスト縮減も行われた。

これらコスト縮減の結果、平成 24 年度は各地域本部で年度当初予定していた収入が大幅に減り、北海道本部の決算も当初計画の予算より 150 万円ほどの支出超過となった。

■平成 24 年度決算の特徴

【特別会計】

1. 特別会計が実費清算方式になり、北海道本部では計画予算より約 200 万円 の収入減となった。この収入減については、一般会計でカバーせざるを得なかった。

【一般会計】

A) 収入の部

全体収入……予算より約 250 万円増

1. 地域組織活動費収入（統括本部から地域本部に会員数に応じて支給される配分）が当会のコスト縮減計画に則り、約 50 万円 減収となった。
2. 各種資料等頒布収入（会誌購読料、受験手引き、登録手引き等）が約 70 万円 減収となった。
3. 研修、セミナー、講演会、見学会などの研鑽に参加する会員から徴収する参加費収入を収入に計上することになったので、見かけ上は約 180 万円弱の収入増となった。
4. 地域本部事務所賃借料などは、以前は統括本部から直接事務所管理会社に支払われていたが、期中後半から地域本部経由で支払われることとなり、見かけ上「その他補助金収入」が約 190 万円収入増となった。

B) 支出の部

全体支出……予算より約 410 万円増

1. 第 40 回技術士全国大会（札幌）を含む広報活動費が約 50 万円かかった。

2. 研修、セミナー、講演会、見学会などの研鑽費は、今までは実質費用（コスト）を支出として計上していたが、参加費収入も含めた合計支払金額の集計に変わったため、見かけ上約 130 万円の支出増となった。
- ・ 従来の支出……研修等による実質費用（コスト）＝研修費用総額支出－参加費収入
 - ・ H24 年度からの支出……研修費用総額支出＝研修等による実質費用＋参加費収入
3. 各種会合費（合格者歓迎祝賀会、研修会）と事務所賃借料の合計で、約 190 万円の支出超過となった。

[以上]

第 1 号報告

平成24年度 決算

一 般 会 計

2013/3/31現在

科 目	①24年度予算	②24年度決算	差 額 ②-①	備 考
I 事業活動収支の部				
I-1 事業活動収入				
②-①				
1 事業収入	6,250,000	7,326,400	1,076,400	
広告料収入	1,000,000	1,050,000	50,000	
参加費収入	150,000	1,909,200	1,759,200	
各種資料等頒布収入	5,100,000	4,367,200	▲ 732,800	会誌、受験手引、登録手引等
2 雑収入	1,010,000	1,067,325	57,325	
受取利息収入等	10,000	2,325	▲ 7,675	
雑収入	0	100,000	100,000	
協賛金収入	1,000,000	965,000	▲ 35,000	賛助会員会費
3 地域組織活動費収入	5,701,000	5,167,699	▲ 533,301	統括本部配分
4 地域組織活動補助費収入	1,502,000	3,371,758	1,869,758	
合同セミナー開催補助金収入	0	0	0	地域産学官セミナー
講演会・見学会開催補助金収入	730,000	730,000	0	統括本部配分
全国大会補助金収入	0	0	0	
地域交流促進補助金収入	350,000	350,000	0	北東3地域本部研修会
その他補助金収入	422,000	2,291,758	1,869,758	(含む事務所賃借料)
事業活動収入計 (A)	14,463,000	16,933,182	2,470,182	
I-2 事業活動支出				
①-②				
1 事業費	15,382,000	19,476,429	▲ 4,094,429	
①業務広報費	4,350,000	4,657,445	▲ 307,445	
(会誌印刷費)	3,500,000	3,227,700	272,300	年3回発行
(会誌郵送費)	550,000	480,525	69,475	
(インターネット運用費)	300,000	315,000	▲ 15,000	ホームページ更新、維持管理
(対外的情報発信活動費)	0	155,000	▲ 155,000	広告宣伝費
(その他の広報活動費)	0	479,220	▲ 479,220	パンフ、チラシ等
②普及啓発費	0	0	0	
(全国大会開催費)	0	0	0	
(合同セミナー開催費)	0	0	0	地域産学官合同セミナー
③相互交流費	1,000,000	862,831	137,169	
(地域交流促進費)	1,000,000	862,831	137,169	北東3地域本部研修会
④研鑽費	1,300,000	2,557,767	▲ 1,257,767	
(講演会・見学会開催費)	1,300,000	2,557,767	▲ 1,257,767	CPD関連事業を含む
⑤各種資料等作成費	400,000	75,450	324,550	受験手引、登録手引等購入原価
⑥業務推進費	8,332,000	11,322,936	▲ 2,990,936	
(賃 金)	922,000	2,572,000	▲ 1,650,000	事務員補助
(会議費)	2,700,000	1,504,963	1,195,037	総会、役員会、委員会、研究会等
(旅費交通費)	1,200,000	2,247,254	▲ 1,047,254	各委員会、事務局交通費
(通信運搬費)	600,000	355,376	244,624	
(消耗品費)	50,000	81,375	▲ 31,375	
(印刷製本費)	550,000	535,781	14,219	総会ハガキ
(図書費)	10,000	0	10,000	
(各種会合費)	0	1,164,788	▲ 1,164,788	合格者歓迎祝賀会、研修会
(事務所賃借料)		711,359	▲ 711,359	
(地域委員会活動費)	1,800,000	1,646,733	153,267	本部委員会、研究会等活動費
(雑費その他)	500,000	503,307	▲ 3,307	慶弔費、謝礼
事業活動支出計 (B)	15,382,000	19,476,429	▲ 4,094,429	
事業活動収支差額(A)-(B)	▲ 919,000	▲ 2,543,247		
II 予備費支出				
1 予備費支出 (C)	81,000	0	81,000	
当期収支差額(A)-{(B)+(C)}	▲ 1,000,000	▲ 2,543,247		
前期繰越収支差額	10,411,172	10,411,172		
次期繰越収支差額 (B)-(C)	9,411,172	7,867,925	△ 1,543,247	特別事業積立金 540万円を含む

残高合計 7,867,925

一般会計+特別会計 残高合計 7,867,925

平成24年度 決算

特 別 会 計

2013/03/31現在

科 目	①24年度予算	②24年度決算	差 額 ②-①	備 考
I 事業活動収支の部				
I-1 事業活動収入 ②-①				
1 地域組織試験事務費収入	3,940,000	1,886,828	▲ 2,053,172	
試験事務費収入	1,160,000	364,180	▲ 795,820	
事務人件費収入	2,620,000	1,522,648	▲ 1,097,352	
設営準備費収入	160,000	0	▲ 160,000	
2 雑収入	0	7	7	
受取利息	0	7	7	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計 (A)	3,940,000	1,886,835	▲ 2,053,165	
I-2 事業活動支出 ①-②				
1 試験事業費	1,270,000	363,865	906,135	
①第一次試験	504,000	116,626	387,374	
旅費交通費	24,000	5,090	18,910	
印刷製本費	200,000	64,136	135,864	案内板、資料作成
通信運搬費	20,000	15,000	5,000	案内板等備品運搬
会 議 費	260,000	32,400	227,600	試験業務打合せ
②第二次試験	766,000	247,239	518,761	
旅費交通費	36,000	31,000	5,000	
印刷製本費	300,000	142,340	157,660	案内板、資料作成
通信運搬費	40,000	29,004	10,996	案内板等備品運搬
会 議 費	390,000	44,895	345,105	試験業務打合せ
2 人件費	2,620,000	1,048,000	1,572,000	
試 験	2,620,000	1,048,000	1,572,000	事務局事務員
3 事務費（試験）	50,000	474,970	▲ 424,970	
事務所賃借料	0	474,235	▲ 474,235	
雑費その他	50,000	735	49,265	
事業活動支出計 (B)	3,940,000	1,886,835	2,053,165	
事業活動収支差額 (A)-(B)	0	0		
II 予備費支出				
予備費支出 (C)	0	0	0	
当期収支差額 (A)-{(b)+(C)}	0	0		
前期繰越収支差額	0	0		
次期繰越収支差額	0	0		

監 査 報 告 書

平成24年度収支決算（平成24年4月1日～平成25年3月31日）について会計監査を行った結果、帳簿、書類、預金通帳等整然と整理されており、適正に執行されているものと認めます。

平成25年4月5日

（公社）日本技術士会北海道本部

会計監事

船越 元 

会計監事

増田 博 昭 

平成25年度事業計画

1. 事務局 ～ ●本部事務連絡窓口, ●受験, 登録事務窓口
●技術士試験会場選定, ●問題集, 手引き, 参考書等の販売
●ホームページ, ●技術士データベース
- (1) 技術士試験委員会 ～ ●技術士試験札幌会場における技術士試験の準備・実施
2. 常設委員会
- (1) 総務委員会 ～ ●統括本部対応及び北海道本部検討事項の総合窓口, ●各種褒賞について会員の推挙, ●実行委員会を所管
- (2) 事業委員会 ～ ●統括本部技術検討事項窓口, ●講習会・見学会等の計画・実施, ●技術士継続研鑽(CPD)窓口及び事業支援, ●研究業績発表, ●統括本部・他地域本部との共同事業
- (3) 広報委員会 ～ ●会誌「コンサルタンツ北海道」年間3巻発刊
- (4) 社会活動委員会 ～ ●調査研究、新規業務等の開拓, ●技術士業務の斡旋, ●マスコミ・行政・企業へのPR, ●研究委員会を所管
- 1) 北方海域技術研究委員会 ～ ●北方海域を取り巻く諸問題の調査研究と提言
- 2) リージョナルスタート研究委員会 ～ ●21世紀の北海道自律を目指した提言と技術士の役割の研究
- 3) 北海道スリム研究委員会 ～ ●既存の規則や規制にとらわれない北海道らしい新たなルールや考え方の研究と提案
- 4) 食産業研究委員会 ～ ●食とその関連産業の効率的なビジネス化の研究
- 5) エゾシカ研究委員会 ～ ●養鹿産業、エゾシカ被害軽減策に関する技術開発・研究
- 6) エンジョイ・サイエンス研究委員会 ～ ●理科授業を通じ技術者となる人材を育成
3. 実行委員会
- (1) 防災委員会 ～ ●地震、防災に係わる情報収集に基づいた北海道型防災の調査研究, ●災害発生地域への技術支援および情報提供
- (2) 青年技術士交流委員会 ～ ●委員会会員の相互の交流, ●青年技術士の資質向上のための講習会, 見学会開催
- (3) 倫理委員会 ～ ●技術者倫理の啓発、普及
- (4) 地方委員会 ～ ●道央・道南・道東・道北・オホーツク技術士委員会, ●技術士継続研鑽(CPD)
4. 主な事業 ～ ●第40回技術士全国大会(札幌)

北海道本部の平成 25 年度予算について

■平成 25 年度予算の特徴

平成 25 年度は、第 40 回技術士全国大会（札幌）が開催されることから、通常より予算規模が大きくなった。

【A：第 40 回技術士全国大会（札幌）概略予算（案）】

平成 24 年度 第 2 回北海道本部役員会（H24.12.12）において、技術士全国大会の概略予算が承認された。予算は、第 39 回技術士全国大会（大阪）の資料、および前回（2004 年）の札幌大会の資料を参考に 1,500 万円規模の予算とした。

【B：一般会計】

過去 5～6 年の一般会計の支出推移は 1,400 万円規模となっているが、平成 24 年度は 200 万円強の赤字となっており、会計科目の計上の変更から見かけ上の規模が 1,900 万円と大きくなっていること、また、会員数が横ばい傾向にあることから、平成 25 年度の予算規模を 1,700 万円とした。当期収支差額では、約 110 万円の赤字予想であるが、活動全般において実質 10%程度のコストダウン運動を展開しており、これにより赤字を回避する予定である。

近年の決算状況の推移をみると、H24 年度から総収入あるいは総支出に対する繰越金の割合が、20%を下回っていることから、H25 年度の結果によっては、H26 年度にはより一層の財政の緊縮を図る必要がある。

【A+B：H25 年度一般会計全体予算】

特別会計予算を除く、一般会計予算と技術士全国大会予算を合わせると、全体支出規模で 3,200 万円となった。

【特別会計】

H24 年度からの実費清算方式による影響の全容が見えない中での予算作りとなったことから、前年実績を踏まえて H24 年度予算より 100 万円減の 300 万円規模の予算とした。

[以上]

平成25年度 予 算

一 般 会 計

2013/1/30

科 目	①24年度予算	②25年度予算	増減 ②-①	備 考
I 事業活動収支の部				
I-1 事業活動収入				
1 事業収入	6,250,000	14,050,000	7,800,000	
広告料収入	1,000,000	1,000,000	0	
参加費収入	150,000	1,150,000	1,000,000	
各種資料等頒布収入	5,100,000	4,000,000	▲ 1,100,000	会誌、受験手引、登録手引等
技術士全国大会収入	0	7,900,000	7,900,000	
2 雑収入	1,010,000	1,010,000	0	
受取利息収入等	10,000	10,000	0	
雑収入	0	0	0	
協賛金収入	1,000,000	1,000,000	0	賛助会員会費
3 地域組織活動費収入	5,701,000	5,030,000	▲ 671,000	統括本部配分
4 地域組織活動補助費収入	1,502,000	6,240,000	4,738,000	
合同セミナー開催補助金収入	0	0	0	地域産学官セミナー
講演会・見学会開催補助金収入	730,000	740,000	10,000	統括本部配分
全国大会補助金収入	0	2,500,000	2,500,000	
地域交流促進補助金収入	350,000	0	▲ 350,000	北東3地域本部研修会
その他補助金収入	422,000	3,000,000	2,578,000	(家賃+賃金②)
事業活動収入計 (A)	14,463,000	26,330,000	11,867,000	除く全国大会 (15,930,000)
I-2 事業活動支出				
			②-①	
1 事業費	15,382,000	31,955,000	16,573,000	
①業務広報費	4,350,000	4,600,000	250,000	
(会誌印刷費)	3,500,000	3,500,000	0	年3回発行
(会誌郵送費)	550,000	500,000	▲ 50,000	
(インターネット運用費)	300,000	450,000	150,000	ホームページ更新、維持管理
(対外的情報発信活動費)	0	50,000	50,000	広告宣伝費
(その他の広報活動費)	0	100,000	100,000	パンフ、チラシ等
②普及啓発費	0	14,900,000	14,900,000	
(全国大会開催費)	0	10,400,000	10,400,000	
(全国大会補助費)	0	4,500,000	4,500,000	旧特別事業積立金 540万円より
(合同セミナー開催費)	0	0	0	地域産学官合同セミナー
③相互交流費	1,000,000	0	▲ 1,000,000	
(地域交流促進費)	1,000,000	0	▲ 1,000,000	北東3地域本部研修会
④研鑽費	1,300,000	1,600,000	300,000	
(講演会・見学会開催費)	1,300,000	1,600,000	300,000	CPD関連事業を含む
⑤各種資料等作成費	400,000	50,000	▲ 350,000	受験手引、登録手引等購入原価
⑥業務推進費	8,332,000	10,805,000	2,473,000	
(賃 金)	922,000	1,000,000	78,000	事務員補助
(賃 金②)		1,577,287	1,577,287	事務員
(会議費)	2,700,000	1,568,000	▲ 1,132,000	総会、役員会、委員会、研究小委等
(旅費交通費)	1,200,000	1,572,000	372,000	各委員会、事務局交通費
(通信運搬費)	600,000	325,000	▲ 275,000	
(消耗品費)	50,000	200,000	150,000	
(印刷製本費)	550,000	610,000	60,000	年次大会ハガキ
(図書費)	10,000	10,000	0	
(各種会合費)	0	250,000	250,000	合格者歓迎祝賀会、研修会
(事務所賃借料)	0	1,422,713	1,422,713	
(地域委員会活動費)	1,800,000	1,880,000	80,000	委員会、研究小委員会等活動費
(雑費その他)	500,000	390,000	▲ 110,000	慶弔費、謝礼
事業活動支出計 (B)	15,382,000	31,955,000	16,573,000	除く全国大会 (17,055,000)
事業活動収支差額(A)-(B)	▲ 919,000	▲ 5,625,000	▲ 4,706,000	除く全国大会 (▲1,125,000)
II 予備費支出				
1 予備費支出 (C)	81,000	50,000	▲ 31,000	
当期収支差額(A)-{(B)+(C)}	▲ 1,000,000	▲ 5,675,000	▲ 4,675,000	除く全国大会 (▲1,175,000)
前期繰越収支差額	10,411,172	7,867,925	▲ 2,543,247	
次期繰越収支差額	9,411,172	2,192,925	▲ 7,218,247	

第2号報告

平成25年度 予 算

特 別 会 計

2013/1/30

科 目	①24年度予算	②25年度予算	増 減 ②-①	備 考
I 事業活動収支の部				
I-1 事業活動収入				
1 地域組織試験事務費収入	3,940,000	2,870,000	▲ 1,070,000	
試験事務費収入	1,160,000	1,818,475	658,475	事務所賃借料948,475円含む
事務人件費収入	2,620,000	1,051,525	▲ 1,568,475	
設営準備費収入	160,000	0	▲ 160,000	
2 雑収入	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計 (A)	3,940,000	2,870,000	▲ 1,070,000	
I-2 事業活動支出				
②-①				
1 試験事業費	1,270,000	820,000	▲ 450,000	
①第一次試験	504,000	344,000	▲ 160,000	
旅費交通費	24,000	24,000	0	
印刷製本費	200,000	200,000	0	案内板, 資料作成
通信運搬費	20,000	20,000	0	案内板等備品運搬
会 議 費	260,000	100,000	▲ 160,000	試験業務打合せ
②第二次試験	766,000	476,000	▲ 290,000	
旅費交通費	36,000	36,000	0	
印刷製本費	300,000	300,000	0	案内板, 資料作成
通信運搬費	40,000	40,000	0	案内板等備品運搬
会 議 費	390,000	100,000	▲ 290,000	試験業務打合せ
2 人件費	2,620,000	1,051,525	▲ 1,568,475	
試 験	2,620,000	1,051,525	▲ 1,568,475	事務局事務員
3 事務費(試験)	50,000	998,475	948,475	
事務所賃借料		948,475	948,475	
雑費その他	50,000	50,000	0	
事業活動支出計 (B)	3,940,000	2,870,000	▲ 1,070,000	
事業活動収支差額 (A)-(B)	0	0	0	
II 予備費支出				
予備費支出 (C)	0	0	0	
当期収支差額 (A)-{(b)+(C)}	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

2012年12月21日提出予算案のベース

第40回技術士全国大会(札幌)概略予算(案)

費 目	予 算	前回実績 見積	増 減	備 考
(1) 大会参加費収入	3,000,000	4,562,000	▲ 1,562,000	(前回570名 8,000円)→(600名 5,000円)
(2) 交流パーティ参加費収入	2,800,000	3,008,000	▲ 208,000	(前回376名 8,000円)→(350名 8,000円)
(3) 全国大会補助金収入	2,500,000	3,000,000	▲ 500,000	
(4) 北海道本部補助金	4,500,000	2,000,000	2,500,000	H25予算+積立金取崩より支出
(5) 広告料収入	2,100,000	2,250,000	▲ 150,000	協賛会員(企業)、前回実績65社
(6) 展示料収入	0	0	0	展示ブース出展企業(広告企業は無料)
A: 収入合計	14,900,000	14,820,000	80,000	
(1) 式典・分科会会場費一式	3,440,000	3,963,579	▲ 523,579	室料、看板、機材、展示設営ほか
(2) 交流パーティ費用一式	3,902,500	3,677,500	225,000	食事、屋台、イベントほか
(3) 司 会	150,000	130,000	20,000	
(4) 大会記念誌等配付資料関連	2,990,000	2,410,054	579,946	記念誌、報告書ほか
(5) 展示・パネル等	695,500	664,543	30,957	賃料、機材費ほか
(6) 見学・研修関連	500,000	760,807	▲ 260,807	代理店、添乗者費用ほか
(7) 会議費	1,200,000	1,185,921	14,079	理事会、実行委員会、分科会
(8) 通信費	300,000	261,669	38,331	
(9) 事務費	200,000	68,691	131,309	リボン等、ほか
(10) 雑費	1,522,000	1,598,384	▲ 76,384	講師謝金、来賓土産ほか
B: 支出合計	14,900,000	14,721,148	178,852	
				ロイトン札幌当初概算見積 7,581,869
収支 A-B	0	98,852		

第 3 号報告

役員の選任について

平成 25 年～26 年度の新幹事選挙の結果、立候補された方はすべて信任されました。
北海道本部役員会で次期役員の選任を行い、以下の方々が選任されました。（敬称略）

（公社）日本技術士会北海道本部 役員名簿

（平成 25・26 年度）

30 名（顧問を除く）

	氏 名	部 門	備 考
特別顧問	佐々木 敏 雄	応 理	
参 与	舘 谷 清	建 設	
特別顧問	大 島 紀 房	応理・総合	
特別顧問	斉 藤 有 司	建設・総合	
代表幹事/本部長	能 登 繁 幸	建設・総合	
副代表幹事/副本部長	中 野 淑 文	上下水道・総合	総務委員長
副代表幹事/副本部長	大 熊 正 信	建設・総合	統括本部総務委員
副代表幹事/副本部長	布 村 重 樹	建設・上下水道・総合	地方委員長
幹事/事務局長	森 隆 広	建設・総合	統括本部理事
幹 事	五十嵐 敏 彦	応理・建設・総合	エゾシカ研究委員会代表
幹 事	伊 藤 恒 雄	農業・総合	食産業研究委員会代表
幹 事	岩 田 徳 夫	建設・総合	社会活動委員長
幹 事	植 村 豊 樹	建設・総合	
幹 事	大 塚 夏 彦	建設・総合	北方海域技術研究委員会代表
幹 事	加 藤 龍 一	建設・総合	事業委員長
幹 事	門 脇 雅 明	電気電子	
幹 事	枇 澤 勝 則	建 設	
幹 事	金 秀 俊	応理・総合	広報委員長
幹 事	佐 崎 雅 史	建設・総合	倫理委員長
幹 事	佐 藤 厚 子	建設・総合	
幹 事	住 友 寛	農業・総合	
幹 事	高 宮 則 夫	建設・総合	防災委員長
幹 事	武 智 弘 明	上下水道・建設	リージョナルステート研究委員会代表
幹 事	対 馬 一 男	建設・総合	エンジン・サイエンス研究委員会代表
幹 事	永 井 登茂美	建設・総合	青年技術士交流委員長
幹 事	永 瀬 次 郎	衛生・総合	
幹 事	中 村 良 則	建設・総合	技術士試験委員長
幹事/事務局次長	羽二生 望	建設・総合	
幹 事	樋 詰 透	建 設	北海道スキャンダル研究委員会
幹 事	古 屋 温 美	水産・建設	
幹 事	三 浦 展 義	機械・総合	
幹 事	吉 野 大 仁	水産・建設・総合	
幹事/会計監事	斉 藤 和 夫	応理・建設	
幹事/会計監事	花 田 眞 吉	建設・総合	

事務局次長	長 井 智 典	建設・総合	役員候補者選出選挙管理委員
-------	---------	-------	---------------

（注）☐ 囲みの方が新任です。

平成 25・26 年度 北海道本部委員会等 役員

1. 事務局

事務局	森事務局長	羽二生事務局次長
		長井事務局次長
技術士試験委員会	中村委員長	三國幹事長

2. 常設委員会

総務委員会	中野委員長	長井幹事長
事業委員会	加藤委員長	桃澤幹事長
広報委員会	金 委員長	見上幹事長
<u>社会活動委員会</u>	岩田委員長	植村幹事長

3. 実行委員会

防災委員会	高宮委員長	小林(正)幹事長
青年技術士交流委員会	永井委員長	木本幹事長
<u>倫理委員会</u>	佐崎委員長	日下部幹事長

4. 社会活動委員会 研究委員会

<u>北方海域技術研究委員会</u>	大塚代表	橋本幹事長
<u>リージョナルスタート研究委員会</u>	武智代表	滝澤幹事長
<u>北海道スタンダード研究委員会</u>	天沼代表	大槻幹事長
<u>食産業研究委員会</u>	伊藤代表	小林(一)幹事長
<u>エゾシカ研究委員会</u>	五十嵐代表	細川幹事長
<u>エシヨイ・サイエンス研究委員会</u>	対馬代表	大谷幹事長

5. 地方委員会 (旧地方技術士会)

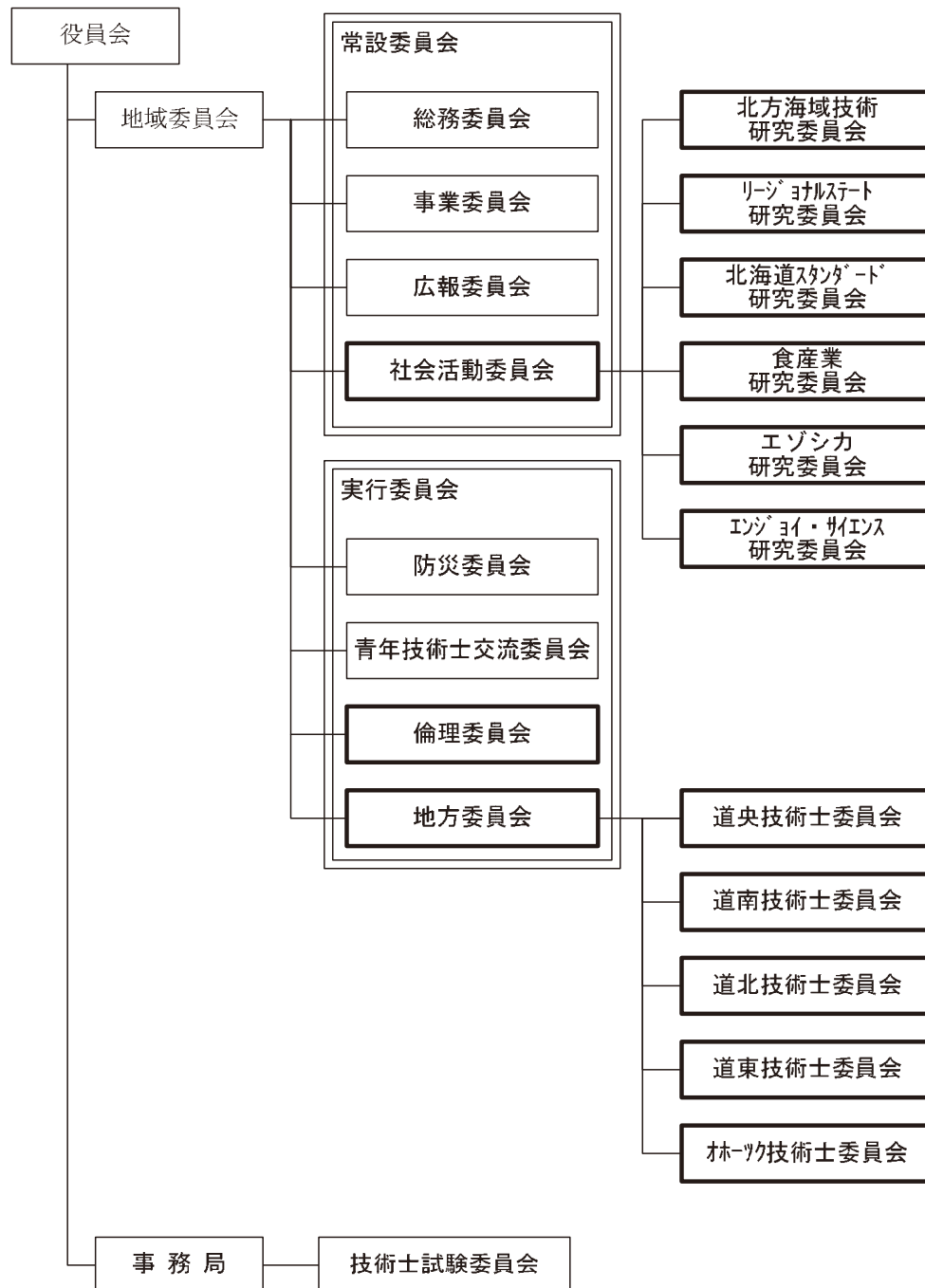
<u>道央技術士委員会</u>	永澤代表	高石幹事長
<u>道南技術士委員会</u>	布村代表	奈良幹事長
<u>道北技術士委員会</u>	大原代表	梅野幹事長
<u>道東技術士委員会</u>	工藤代表	上野幹事長
<u>ホーツク技術士委員会</u>	大島 (俊) 代表	岡田幹事長

(注) 囲みの方が新任です。
下線は組織改訂による変更部分です。

第4号報告

北海道本部組織の改訂について

公益社団法人日本技術士会における地域本部に関わる規定の制定（「地域組織の設置運営に関する規則」、「地域組織の運営についての詳細事項に関する規則」、「地域組織運営における個別事項を定めるモデル手引きに関する規則」）に伴い、「北海道本部の運営における個別事項に関する手引き」を作成中であり、一部組織については以下のように変更予定である。



（注）太線が組織改訂による変更部分です。

平成 25 年度（公社）日本技術士会会長表彰者（北海道本部）

公益社団法人日本技術士会会長表彰規則第 5 条に基づき、北海道本部より下記 3 名の方が受賞された。

氏 名	入会年月日	受 賞 理 由
阿部 均	H10.7.1	長年にわたり試験委員会幹事として、委員会の運営、技術士試験に関する準備、運営・指揮に尽力し、当本部並びに本会の発展に貢献した。
大島 俊之	H12.7.13	長年にわたり当本部副本部長、オホーツクブロック代表を務め、道内会員の活動支援、技術研鑽に尽力し、当本部並びに本会の発展に貢献した。
渡辺 宏	H14.5.15	森林部会の唯一の支部である北海道支部の幹事として長年にわたり部会活動に尽力するなど、部会並びに本会の発展に貢献した。